

議事録

会議名：第53回中四国学生剣道連盟理事会

●日時：2016年5月21日PM2時00分より

●場所：愛媛県武道館 大会議室

●構成員：38名

●参加者：藤原崇郎、渡邊道德、木原資裕、大城戸 功、村井慎治、山神眞一、石井博貞、境 英俊、宮川 健、竹内善一、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、宮本賢作、原川琢至、曾我部敦介、杉若剛志、三好恒平、小松良成、金築佳佑、三浦和紗、喜多耕平、米田 駿、岸本幸大、平崎翔太、山之内智哉、胡 紫、米澤時希、渡邊大輝、小松未佳、山中優治（以下委任状により出席と見做す）、三浦利雅、福井悦郎、香川直己、古田千佳、中西なつみ、中原 誠、野津庄平、以上38名、欠席者：0名

オブザーバーとして、森 正典

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。杉若剛志幹事長を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：小松良成

E-mail：info@chushi.xsrv.jp（不明点はこちらへ）

開会の辞

藤原崇郎会長が開会の辞において、今回の選手権大会より出場者数に各大学の出場枠上限を設けることに対し、ご協力いただいた環太平洋大学に感謝の意を述べられた。

また、監督が審判員を兼ねない方が望ましいが、経費等の問題もあり、この主旨ををお酌み取り頂き、公平中立な審判ができるように協力を求められた。

Summary：

議題1：第52回理事会議事録確認

議題2：先輩役員の担当変更について

議題3：幹事会報告（リーゼミ報告・脱退・選手権・その他）

議題4：全日理事会報告

議題5：全日本学生剣道オープン大会について

議題6：平成27年度決算案

議題7：平成28年度全剣連「剣道有功賞」について

議題8：剣友会（中四国学連剣友剣道大会）の予定

議題9：その他



1. 第52回理事会議事録確認

第52回理事会議事録を異議なく承認した。

2. 先輩役員の担当変更について

先輩役員の担当変更について原案とおり承認された。また、理事である宮本賢作先輩が福山市立大学から香川大学に転勤されたことにより生じた、一つの大学に二名の理事が在籍している現状について確認が行われ、今後の大学教員の現況を鑑み、一大学から数名の理事が出ることも問題無いとの認識が示された。

3. 幹事会報告(リーゼミ報告・脱退・選手権・その他)

報告者：杉若剛志・金築佳佑・三好恒平

平成28年4月17日愛媛大学において常会幹事会が行われた。

1. 尾道市立大学の連盟脱退についての報告

- ・尾道市立大学の連盟脱退が正式に承認された。

2. 平成27年度リーゼミと平成28年度リーゼミに関する新提案についての報告

- ・昨年度リーゼミが先輩方のご協力により無事終了したことが報告（報告書はホームページに掲載）され、感謝の意が述べられた。
- ・本年度リーゼミの開催日程を例年とは異なり、3月中旬から下旬の間にするという案と、各大学の先生方を講師としてではなく参加者としてリーゼミへの参加を促すという案について、幹事会で各大学に配布したアンケートを集計検討後、次回優勝大会での理事会において決定事項を発表することが報告された。

3. 平成28年度選手権大会についての報告

- ・男女合わせての出場者数が10名以上の大学は監督章と主務章をそれぞれ監督代理届の提出と申し出により1つ増やすことができるようになったことが報告された。
- ・主務の服装について剣道着、袴の着用が義務付けられたことが報告された。

4. 全日本学生・女子学生剣道東西対抗試合の選手選考基準（案）について

- ・選手選考基準（案）の「審判長の判断により」を「選手選考委員会の判断により」に変更して適用することが決定した。

5. その他

- ・村井慎治先輩が近年のリーゼミにおける学生の飲みすぎによる問題を例に出され、リーゼミにおける学生飲酒の徹底した管理を求められ、充実するための会であるが不手際の起こらないよう検討することになった。

4. 全日理事会報告

報告者：三好恒平

平成28年2月6日（土）にエムワイ貸会議室お茶の水にて第1回理事会・第1回常任理事会が行われた。

1. 平成28年度～平成31年度全日本学生剣道連盟先輩役員・専門委員が原案とおり承認された。
2. 総務委員会からの報告
 - ・全日本学生剣道連盟HPの更新案が了承された。
 - ・各地域連盟の意見をまとめて作成された「不祥事防止ガイドライン」を各地域連盟から各大学に通達すること、ガイドラインのポスターに薬物について明記することを承認したと報告された。
3. 審判委員会からの報告
 - ・平成28年度重点目標、全日本学生剣道連盟主催大会審判長・副審判長、審判講習会について承認した。
 - ・審判員数を1試合場につき2名増やす見直し案が承認された。
4. 事業委員会からの報告
 - ・平成28年度事業計画（案）では全日本学生剣道優勝大会が国体と同日程となっているため、これを各地域連盟から各加盟大学に通知することが決定した。
5. 財務委員会からの報告
 - ・第10回オープン大会決算（案）について残金を特別会計積立金として次回大会に繰り越す旨が報告され、それについて議論がなされた。（中四学連においても色々な案が議論された）
 - ・平成28年度より全日本学生剣道連盟の財源確保のため、大会参加費と部員登録費の両方を改定することが承認された。

5. オープン大会 審判講習会について

報告者：杉若剛志

- ・来年度広島で行われるオープン大会に向けての審判講習会を今年度の新人大会時に行うことが提案された。この審判講習会は中四国学生剣道連盟の自費で行い、審判員は広島県の先輩方を中心をお願いするとの説明があり、この提案は承認された。
- ・試合場を6試合場で各試合場8名で、各県の割り当てを広島県から32名（六・七段を中心に）とし、各県からを各2名の審判員とする。

6. 平成27年度決算案

報告者：平崎翔太

- ・平成27年度決算（案）の提案がなされ、各項目について補足説明が行われた後、これを承認した。

7. 平成28年度全剣連「剣道有功賞」について

報告者：杉若剛志

- ・剣道有功賞の推薦を各地域連盟が8月末までに行われていますが、本年度優勝大会が9月に行われるため理事会での推薦が8月末に間に合わないため、推薦者を幹事長宛に連絡していただくことが決定した。

8. 剣友会(中四国学連剣友剣道大会)の予定

報告者:宮川 健・廣畑栄三

- ・今年度の第18回中四国学連剣友剣道大会が岡山市総合文化体育館で12月4日に行われる予定であり、女子の参加、混成チームの参加についても検討中であること、また本大会は来年3月に関西で行われる全国大会の予選も兼ねていることが報告された。
- ・第18回中四国学連剣友剣道大会は岡山開催であるため、審判長は岡山の山根大二朗先輩、副審判長は赤木 茂先輩をお願いすることが報告された。

9. その他

- ・昨年度まで理事を務められていた榎 康守先輩への功労賞の授与が決定した。

閉会の辞

藤原崇郎会長が議題の審議を行ったことについて感謝の意を述べられた。
また、翌日の大会を成功させるため、気持ちを新たにして協力するようにとのお言葉を頂いた。

以上の議事を終え、本会は午後15時3分、議長が閉会を宣言して散会した。
上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 28 年 5 月 21 日

中四国学生剣道連盟 第53回理事会

署 名 人 廣 畑 栄 三

署 名 人 小 松 良 成



次回 MTG

日 時 : 2016年9月3日

場 所 : 岡山大学 学生会館 ホール